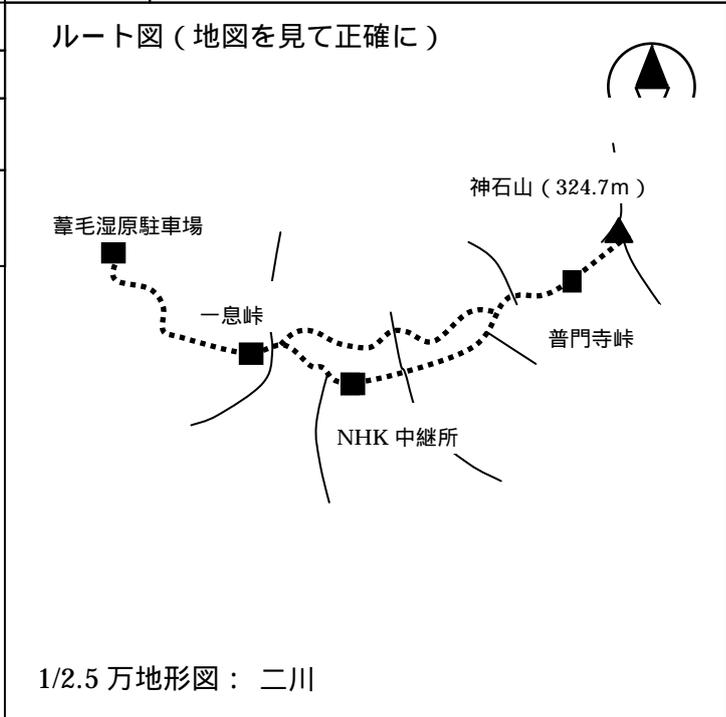


12月度 例会 山行報告書		報告者	福井正信	参加 メンバー	CL:福井,SL:津田 白井、青木、浜島、佐溝、岩崎、 青山、塚本、三矢、青柳、渡辺 夫妻、大西、片山、杉本
個人		報告日	04/18		
山域	*****東三河	山行日	2012年4月8日(日)		
山名	*****神石山				
山行目的	****春の山を楽しむ		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



04/08 晴れ

6:55 刈谷発
8:10 葦毛湿原 P 着
8:45 葦毛湿原 P 発
9:25 一息峠
9:50NHK 送信所
10:00 座談山
10:25 普門寺峠
10:45 神石山
11:30 神石山発
12:35 一息峠
12:50 葦毛湿原 P 着
13:30 豊橋・極楽の湯
16:00 刈谷着

山行報告 駐車場角で東三河野鳥の会のノボリを立て 4~5名のメンバーらしき人が望遠鏡を覗いているのを見ながら出発する。湿原の右手木道を行くと盛りを過ぎた「ショウジョバカマ」が所々咲いている、「ウーこれ何にー」の声のする水の中の黒い塊はオタマジャクシの大群。木道が終わり山道に掛り所々の「ミツバツツジ」の花が単調な上りを慰めてくれる。一息峠で一息入れ稜線への上りに入り、程なくカタクリの群生している NHK 送信所をゆっくり通過、カタクリの花言葉は「片思い」とのうんちくを語る声を下りに聞きながら座談山に向かう。座談山で小休止、見えない富士の方向を確かめたり、昔通った事のある立岩の場所はこのこんもりした森の付近と想定、アスモも見える。展望を楽しんだ後大きく下り、少し上り返して平坦な稜線に行く。舟形山城跡の標識杭を見て下りにかかり、ゴツゴツした岩の多い普門寺伽藍跡を過ぎれば普門寺峠に着く。ここから又結構長い登りの階段が続く、「こんな登りはもう終わりにして欲しい」と弱音を吐く声が出るくらい低い山にしてはアップダウンのあるコースだ。階段を登り切ると「ここが神石山です」の標識、良かった。なだらかな道の傍に三角点があった。標高 324.7 に合わせたのが、目立つ標識杭も無く四方を岩で囲んだ地表 40cm程の I 等三角点と記した石柱である。山頂は朝の寒さがウソのような陽光を浴びベンチの有る広場で、コーヒーと甘酒を飲みながら昼食とする。この天気感謝し、多くの登山者で賑わう山頂を後に、来た道

を戻る。下りは途中より座談山、NHK 送信所を通る稜線路を避け、巻道を選び下る。巻道は一息峠の手前で合流する平坦な楽な路で有った。葦毛湿原 P から豊橋市内の桜を楽しみながら 1 号線沿いのスーパー銭湯「極楽の湯」に寄る。湯は露天の玉露入り檜風呂も有り、今日の心地よい疲労感をリフレッシュした。豊川 IC から豊田南 IC で降り刈谷に 16 時に着く。運転手の方安全運転ご苦労様でした。



石標の立派な三角点

確認
(リーダー)
福
12/04/18
井
作成
(報告者)
福
12/04/18
井

リーダー所見
低山ながら地元其自然歩道として良く整備された路で、我々のようなクラブが楽しむのに格好な山であった。天候に恵まれたとは言え、成功裏に終わったのはメンバーシップの賜物と思う。